

## 令和2年度 運営方針策定及び予算編成に向けた意見票（集約）

## 《子育て・やさしさ部会》

## ●経営課題1 【子育て・教育環境の充実】

委員	ご意見
木野委員	<p>○ 戦略1-1 【子育て支援の充実】</p> <p>令和2年度から大阪市版ネウボラという文言が出ているが、その詳細を説明する必要がある。各地区保健師が主体となるのは良いが、関係性構築のうえに社会的資源に繋ぐ方法を標準化して分かりやすくした方がよい。具体的取組がめざす指標として臨床心理士による相談件数600件以上という根拠が不明。相談後のシステム構築が必要。</p> <p>○ 戦略1-2 【子どもへの教育支援】</p> <p>子どもを取り巻く環境の変化、昨今の社会事件の頻発等から、子どもへの教育支援はさらなる充実が必要。特に、スマホやゲームなどメディアやSNSが生活スタイルや人間関係性に及ぼす影響は看過できない。学校のみならず社会全体で取り組むべき問題である。ビジョンに示された取組は、知育・体育に偏り、徳育の視点が見られない。要援護者に対する支援策だけでなく、子ども全体を視野に入れた取組を求める。旭区青少年育成推進会議、モラロジー事務所主催の「伝えよう！いのちのつながり作文表彰」などを活用して全区的に取組んでほしい。</p>
岡委員	<p>○ 戦略1-1 【子育て支援の充実】</p> <p>各地域担当の保健師さんを核にしての戦略はとてもいいと思います。</p> <p>これまでプレママサロン・子育て中のお母さん対象の講座など多くの取り組みが、保健福祉センター、区民センター等で、あるいは個別になされてきました。しかし遠い、受講できる人数が少ないなどの課題もあるのではないかと思います。さらに踏み込んで、各地区で（その地区の子供の構成・状況に合った講座）を年1回は開催するなどされてはどうでしょうか。それぞれの地区のボランティアも交えて行うことで、より地域全体で顔の見える見守りができるようになるのではないのでしょうか。</p>

●経営課題2【暮らしを守る福祉等の向上】

委員	ご意見
木野委員	<p>○戦略2-1【健康寿命を延ばす取組】 生活習慣病の源は胎児期・乳幼児期の環境にまで遡ると言われる。また、健康寿命は生活スタイルのみならず、人生観や家族関係など複合的な要因から形成される。よって、健康寿命を延ばす取組として高齢者のみでなく、青少年も視野に入れた全世代を対象としてほしい。</p> <p>○戦略2-2【誰もが暮らしやすいまちづくりの取組】 戦略2-1で述べたように、「誰もが暮らしやすいまちづくりの取組」として、要援護者のみを対象とする施策でなく、高齢者と青少年、障がい者と健常者との連携・協働を行うことを前面に出した取組が望まれる。お守りカードの作成・配布とあるが、詳細が不明。</p>
岡委員	<p>○戦略2-1【健康寿命を延ばす取組】 地域型認知症予防プログラムは、より多くの方（グループ）が参加できるようにお願いします。</p>